

Wi-Fiカメラ

取扱説明書 基本編

- ・CamHiアプリ接続
- ・映像ダウンロード、外部アクセス
- ・録画映像再生方法

防犯・監視カメラ通販・設計・施工
ELEXSYSTEM
合同会社エレックスシステム


最新更新日：2026年9月

第1版

エコの観点より、本書は1回のお買い上げに付き

1部

のみ同梱（複数台お買い上げの場合でも）

させていただいております。

Wi-Fi/SD録画カメラシリーズ説明書識別

A

本書の役割

本書は本製品を初めてご使用になる方を対象とした簡易説明書（**本書のみ冊子型で商品に同梱しております**）です。まずはスマートフォンに本製品を登録し、ライブ映像の確認および録画映像の再生を行うまでの基本的な操作についてご説明します。その他の詳細な設定や操作方法につきましては、ダウンロード版の取扱説明書をご覧ください。

各取扱説明書ダウンロードQRコード・URL

本書	A	取扱説明書 基本編		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-A-CamHi-Registration.pdf
	B	取扱説明書 CamHiメインメニュー編		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-B-Camhi-mainmenu.pdf
	C	取扱説明書 設置工事・仕様書編		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-C-700series-kouji.pdf
	D	取扱説明書 HiP2/パソコンlientで パソコン運用編		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-D-HiP2/パソコンlient.pdf
	E	取扱説明書 パソコンでの録画映像の 再生方法編 (SDの中身をパソコンで 見る 方法を含む)		https://www.elexsystem.co.jp/manual/MANU_WF-E-パソコンview.pdf

目次

1. 付属品を確認する。	P 2
2. 各部の説明	P 2
3. アンテナを取り付ける。	P 4
4. microSDを本機に挿入する。	P 4
5. 本機をアダプタに接続する。	P 5
6. CamHiアプリをスマートフォンにインストールする。	P 5
7. 本機とスマートフォンをWi-Fi接続する。	P 6
8. CamHiアプリに本機を登録する。	P 8
9. ライブ映像メニュー	P 12
10. 外出先から本機へアクセス・映像確認・操作する接続方法	P 15
11. 録画映像の再生方法（スマートフォン再生）	P 17
12. 録画日数	P 18
13. ダウンロードした録画映像を動画再生ソフトで再生できるようにする。	P 19

1. 付属品を確認する。

- | | | |
|--------------------------------------|--------------------------|-----------|
| 1) 本機（カメラ本体） | 2) アンテナ | 3) ACアダプタ |
| 4) microSDカード1枚（容量はお買い上げ時に選択いただいたもの） | 5) ビスセット（パソコンケーブルプラグ付き） | |
| 6) 本機のWi-Fiパスワードのご案内用紙 | 7) 製品保証書 | |
| 8) 取扱説明書・基本編（本書・1ご注文で本書1部） | ※ オプション品などは納品書と照合してください。 | |

2. 各部の説明

ES-CW721FW/C

●各部の説明

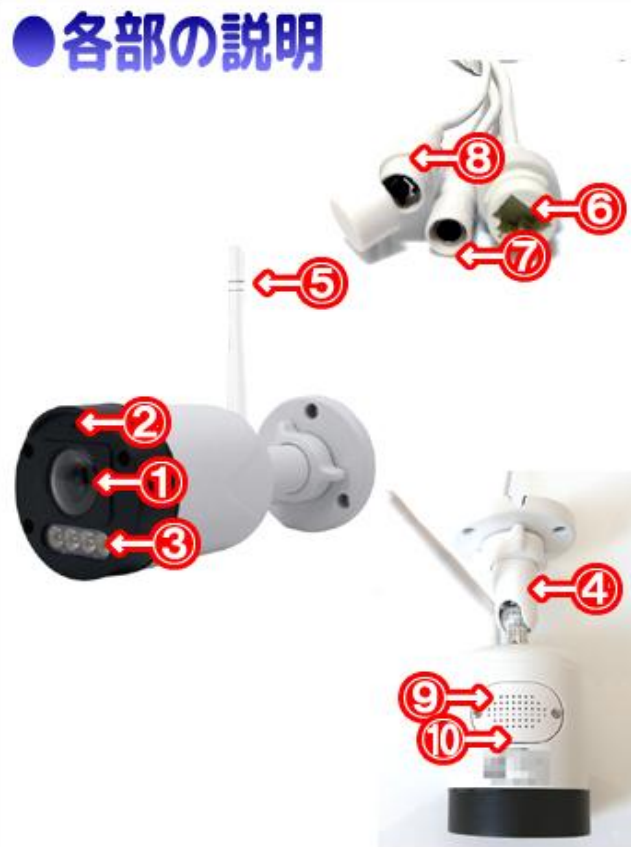
①	レンズ	被写体を捉える部分です。カメラ周囲の輝度を感じ、夜など暗闇を検知すると光センサー周囲の赤外線LEDが作動・点灯し、白黒の映像で被写体を捉えます。
②	光センサー	②条件を満たすと赤く点灯します。
③	赤外線LED	②条件を満たすと赤く点灯します。
④	カメラスタンド	設置する場合、このスタンドを設置面に取り付けます。
⑤	Wi-Fiアンテナ	WiFi電波を出力します。
⑥	LANポート	パソコンと本機を接続する場合、LANケーブルを接続します。但し、LANポートを接続するとWiFi電波は出力しなくなります。
⑦	電源ポート	本機同梱のACアダプターを接続します。
⑧	リセットボタン	本機より効果音が鳴動するまで長押しすると本機設定が初期化されます。
⑨	SDカードスロット スピーカー	▼ SDカードスロット microSDカードを入れる場所です。 ▼ スピーカー スマートフォンから話してその音声を本機から鳴動させます。
⑩	マイク	本機周辺の声や音を集音してライブ映像と共にスマートフォンへ転送します。

●各部の説明



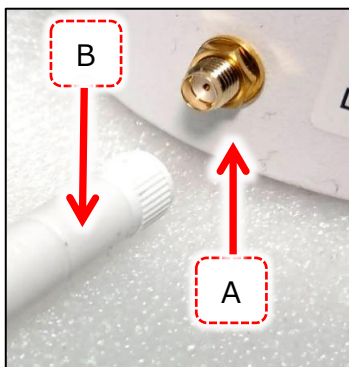
①	レンズ	被写体を捉える部分です。 カメラ周囲の輝度を感じ、夜など暗闇を検知すると光センサー周囲の赤外線LEDが作動・点灯し、白黒の映像で被写体を捉えます。
②	光センサー	②条件を満たすと赤く点灯します。
③	赤外線LED	②条件を満たすと赤く点灯します。
④	カメラスタンド	設置する場合、このスタンドを設置面に取り付けます。
⑤	Wi-Fiアンテナ	WiFi電波を出力します。
⑥	LANポート	パソコンと本機を接続する場合、LANケーブルを接続します 但し、LANポートを接続するとWiFi電波は出力しなくなります。
⑦	電源ポート	本機同梱のACアダプターを接続します。
⑧	リセットボタン	本機より効果音が鳴動するまで長押しすると本機設定が初期化されます。
⑨	SDカードスロット スピーカー	▼ SDカードスロット microSDカードを入れる場所です。 ▼ スピーカー スマートフォンから話してその音声を本機から鳴動させます。
⑩	マイク	本機周辺の声や音を集音してライブ映像と共にスマートフォンへ転送します。

●各部の説明

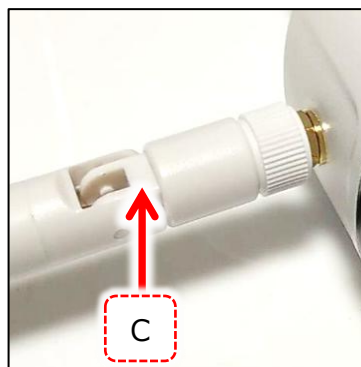


①	レンズ	被写体を捉える部分です。 カメラ周囲の輝度を感じ、夜など暗闇を検知すると光センサー周囲の赤外線LEDが作動・点灯し、白黒の映像で被写体を捉えます。
②	光センサー	②条件を満たすと赤く点灯します。
③	赤外線LED	②条件を満たすと赤く点灯します。
④	カメラスタンド	設置する場合、このスタンドを設置面に取り付けます。
⑤	Wi-Fiアンテナ	WiFi電波を出力します。
⑥	LANポート	パソコンと本機を接続する場合、LANケーブルを接続します 但し、LANポートを接続するとWiFi電波は出力しなくなります。
⑦	電源ポート	本機同梱のACアダプターを接続します。
⑧	リセットボタン	本機より効果音が鳴動するまで長押しすると本機設定が初期化されます。
⑨	SDカードスロット スピーカー	▼ SDカードスロット microSDカードを入れる場所です。 ▼ スピーカー スマートフォンから話してその音声を本機から鳴動させます。
⑩	マイク	本機周辺の声や音を集音してライブ映像と共にスマートフォンへ転送します。

3. アンテナを取り付ける。



本機に[A]アンテナ装着部があります。
[A]に[B]のアンテナをねじ締めのように
回しながら装着させます。



[C]のように、アンテナを90°に折る事ができます。

※ 写真は他モデルを例としています。
突出した金色の部分アンテナ
装着部になります。

4. microSDを本機に挿入する。

下記写真の部分は初めは2点の小ねじでフタが閉まっています。ねじを外し、フタを外すとmicroSDのスロットが見えます。



● ES-CW721FW/Cの場合

microSDカードの金属端子部をレンズ側
に向けて、本機のスロットに挿し込みます。
そのまま「カチッ」と手応えがあるまで押し込んでください。
「カチッ」と音がして固定されたら、microSDカードから手を
離してください。

← レンズ側



● ES-CD722FW/Cの場合

microSDカードのラベル印字部をレンズ側
に向けて、本機のスロットに挿し込みます。
そのまま「カチッ」と手応えがあるまで押し込んでください。
「カチッ」と音がして固定されたら、microSDカードから手を
離してください。

← レンズ側

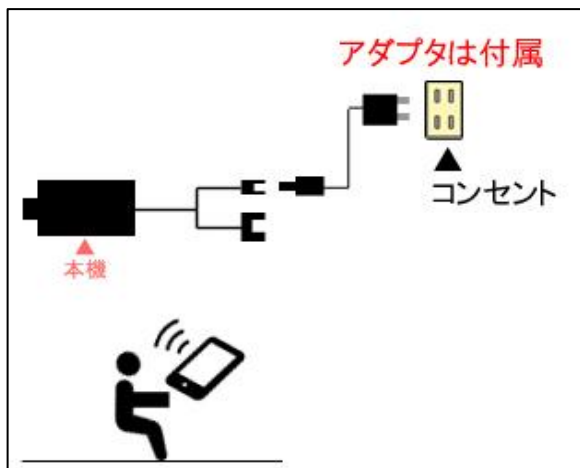


● ES-CW723FW/Pの場合

microSDカードの金属端子部をレンズ側
に向けて、本機のスロットに挿し込みます。
そのまま「カチッ」と手応えがあるまで押し込んでください。
「カチッ」と音がして固定されたら、microSDカードから手を
離してください。

← レンズ側

5.本機をアダプタに接続する。



付属品のアダプタをコンセントに挿し、本機に接続してください。
お手持ちのスマートフォンもご用意いただき、本機とスマートフォンが1m以内の範囲になるような状況でご準備ください。



アダプタ
接続写真

※ 本機はACアダプタ電源投入後、1分後に起動します。
起動した直後、本機から起動メッセージが鳴動します。

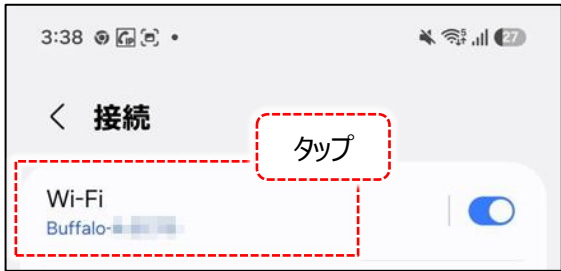
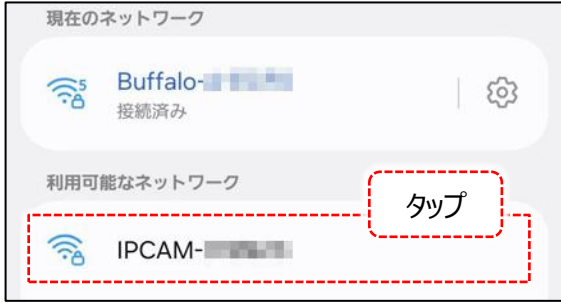
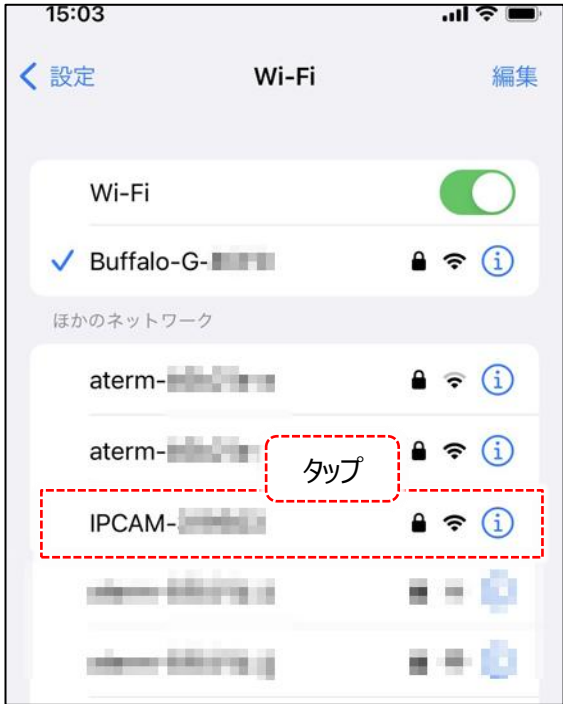
6.CamHiアプリをスマートフォンにインストールする。

それぞれのデバイスで、QRコードを読み込んで、「CamHi」アプリをスマートフォンでインストールしてください。

googleストア (Android)	APP store (iPhone)
franck IPCAMソフト  2.8★ 1.96万 件のレビュー 100万+ ダウンロード 他のデバイスへのインストール	 CamHi ユーティリティ 無料 共有
	

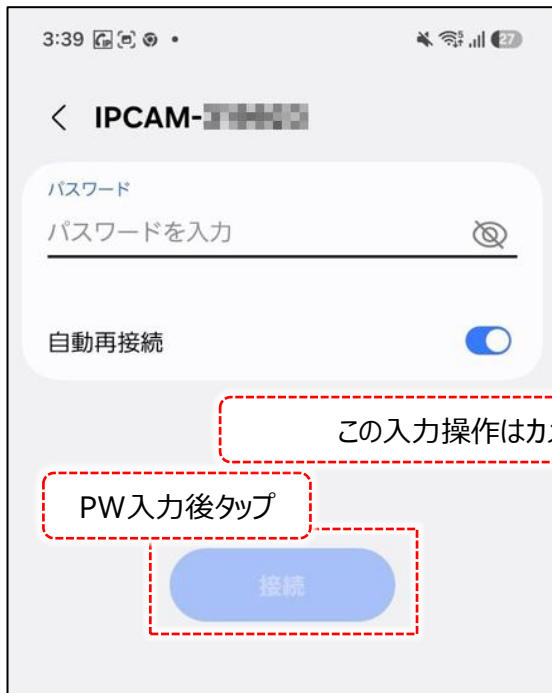
7. 本機とスマートフォンをWi-Fi接続する。

★画面構成は機種により異なる部分があります。

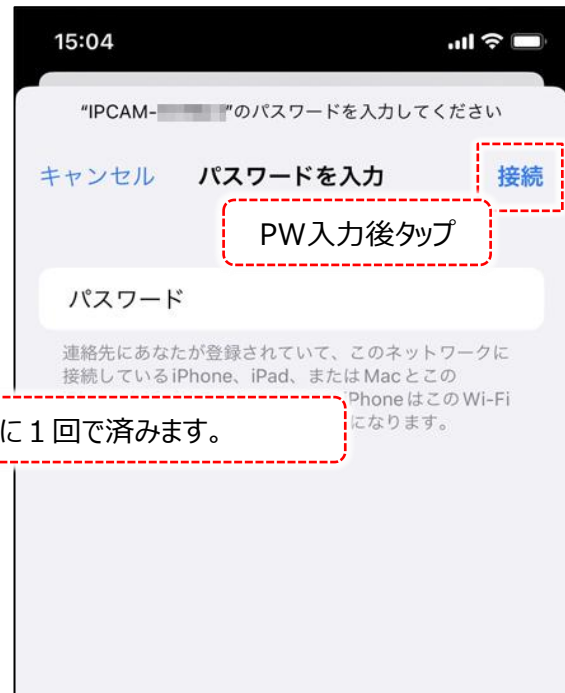
Android	iPhone
Androidの 「設定」→「接続」から以下画面へ入ってください。 	iPhoneの 「設定」から以下画面へ入ってください。 
 ↓ 	
表示されるWi-Fiリストの中に「IパソコンAM-」で始まる数字6桁のWi-Fi名称があります。 この名称は本機にシールで貼ってあります、 アルファベット4文字 - 数字6桁 - アルファベット5文字 の中の「数字6桁」と「IパソコンAM-」で始まる「数字6桁」が同じであることを確認してください。そしてタップしてください。	

次ページへ続く

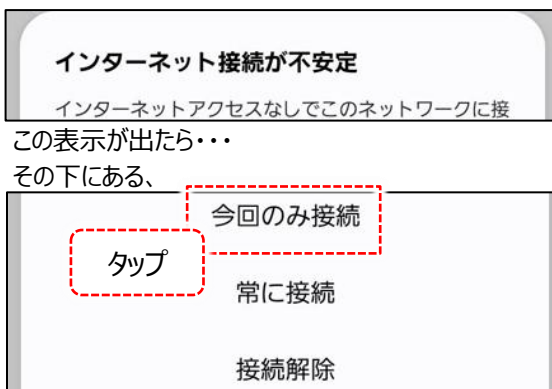
Android



iPhone



パスワードを聞かれますので、別紙A5の「Wi-Fiパスワードのご案内」に記載してあるパスワード8桁を入力してから、写真の箇所をタップしてください。



「インターネットなしで接続」または「インターネット未接続」に類似する表記があれば接続成功です。

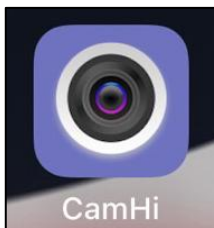


チェックマークが表示されて、本機とスマートフォンがWi-Fi接続されました。
「インターネット未接続」ですが、表示されている状態が正常になります。
この表示が出るまで30秒程度かかる場合もあります。

8. CamHiアプリに本機を登録する。

ここからはAndroidもiPhoneも操作は同一になります。

▼ STEP1



スマートフォンの壁紙にある「CamHi」アイコンをタップして、CamHiを開きます。

▼ STEP2



▼ STEP3

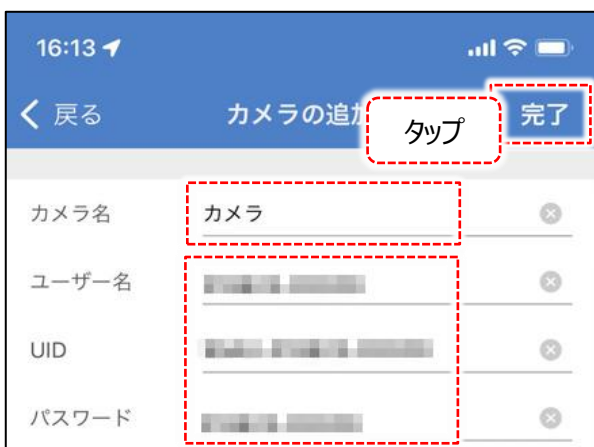


▼ STEP4



【P6,P7】でWi-Fi接続したカメラのリストが表示されます。

▼ STEP5



← ここで任意にカメラ名称を入力する。「自宅」など。

← 枠内にSTEP4で選んだカメラ情報が自動的に入力される。

← UIDが自動的に入力される。

← パスワードが自動的に入力される。
(初期パスワードはadminです)

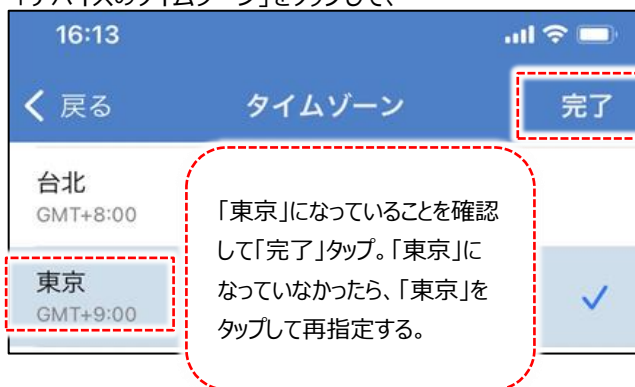
▼ STEP6



▼ STEP7



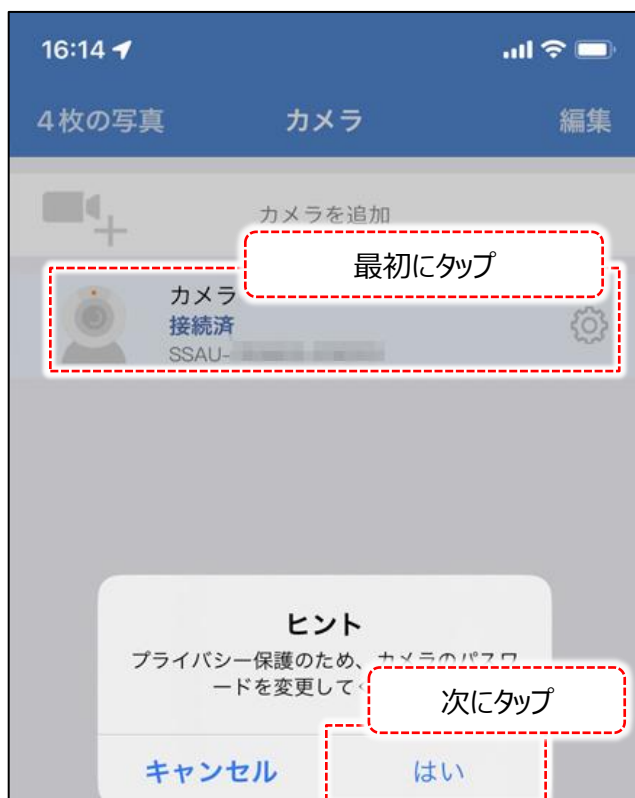
「デバイスのタイムゾーン」をタップして、



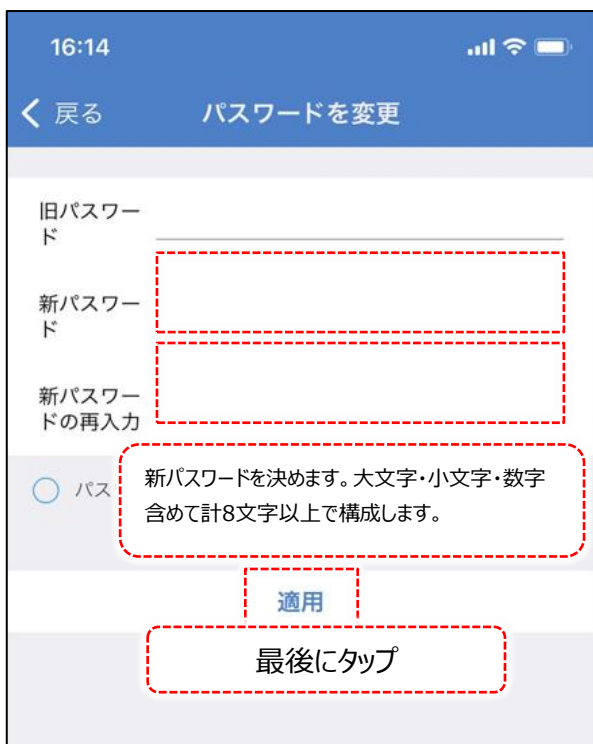
▼ STEP8



▼ STEP9

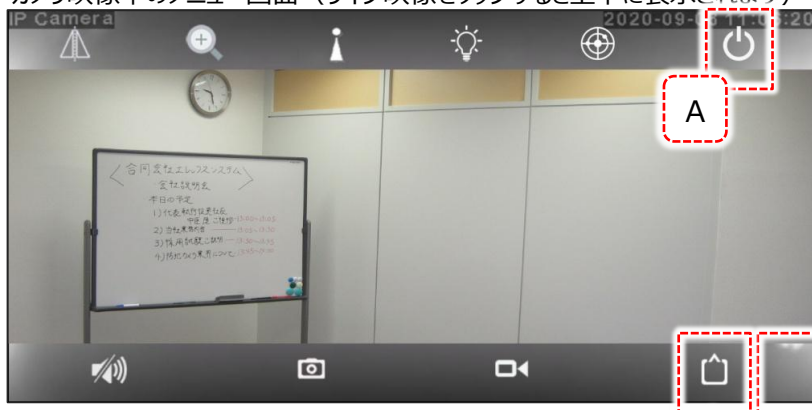


▼ STEP10



▼ STEP12

カメラ映像中のメニュー画面（ライブ映像をタップすると上下に表示されます）



← これをタップすると、カメラ接続リストに戻ります。

ES-CW723FW/P
は楕円型のパノラマ映像になります。

iPhoneの場合は、一番右のメニューとして、画面の適正化を設定するメニューがあります。

★この設定は必ず行ってください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ● Androidの場合 | ● iPhoneの場合 |
| 高精 → こちらを設定してください。 | HD → こちらを設定してください。 |
| SD | SD |

ライブ映像を確認したら、[A]をタップして、STEP11の「カメラ」のメニューに戻ります。

▼ STEP11

パスワード設定が成功すると、

パスワード修正成功、^{適用}カメラ再接続をお待ち下さい

が表示され、その後、



「接続済」であれば設定成功です。更にこの「接続済」のリストをタップすれば、カメラ映像が表示されます。

[Z]のようにベルマークがついていた場合、動体検知履歴がある事を示します。



▼ STEP13

歯車マークをタップします。



「SDカード」をタップします。



数字が表示されればOK！

microSDカードが認識している事を示します。



表示なしの場合はNG

microSDカードが認識されていない事を示します。

・改善方法

ACアダプタをコンセントから抜いて、再度アダプタを挿し込み本機の電源のOFF/ONを実施。

【P6】-「7.本機とスマートフォンをWi-Fi接続する。」で再度、本機とスマートフォンをWi-Fi接続してください。CamHiアプリ起動後、本項同様にmicroSDの認識状況を確認してください。

それでも改善しない場合はお問い合わせください。

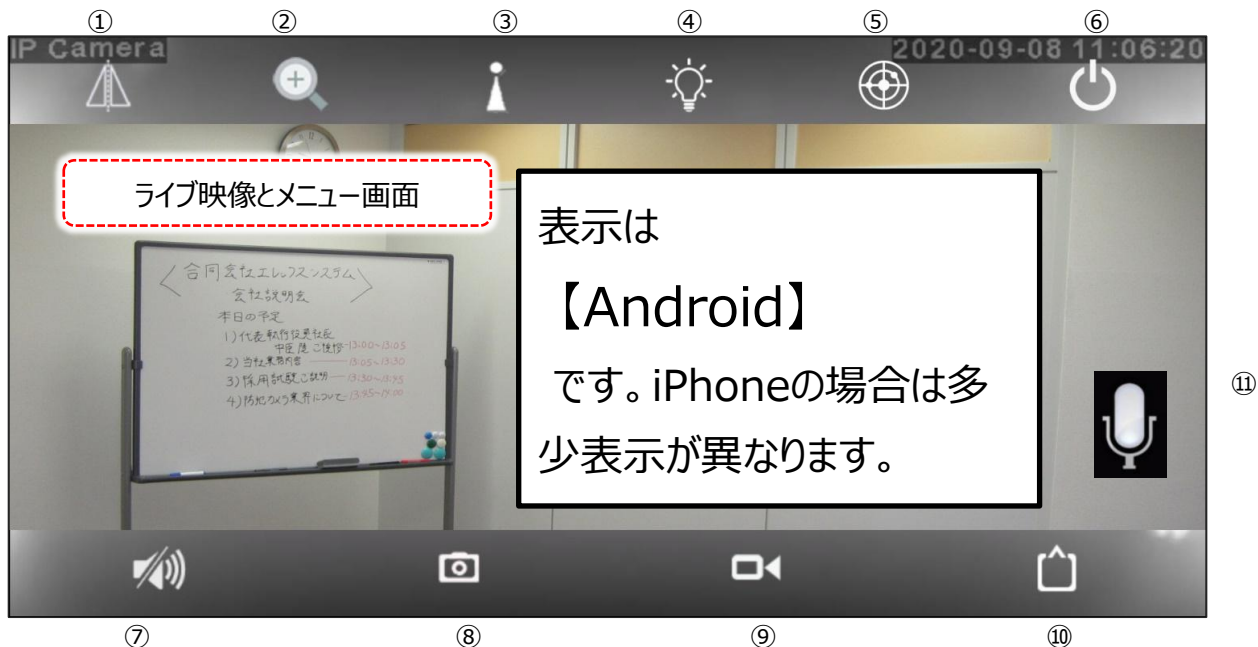
これでカメラ登録の設定は完了です。

他のカメラを登録する場合も同じ方法です。

【P6】からのWi-Fi接続するとき、接続しようとするカメラを選択しなおす必要があります。

また、複数台CamHiアプリに登録済みの場合でも、映像を見ようとするカメラに1回1回接続し直す必要があります。

9. ライブ映像メニュー



① ライブ映像反転

ライブ映像を水平反転・垂直反転表示する設定です。

② レンズ操作

本機ではサポートしていません。

③ プリセット設定

本機ではサポートしていません。

④ 赤外線作動時設定

本機は夜間などの本機周辺が暗い場合、レンズ部周辺の赤外線LEDが作動します。この時、映像は通常白黒になります。当設定では、赤外線作動時のライブ映像の白黒かカラーかを設定できます。

Normal : 通常通り、白黒で映像が表示されます。
※ 通常はこちらを設定してください。

Color : カラーで映像が表示されます。

Auto : 本機が自動的に識別して上記2点の設定を自動的にライブ映像に反映します。



ご注意

設定した項目に準じて録画も行います。
また赤外線LED作動時（本機周囲が暗い場合）は通常、被写体は白黒の方が捉えやすい・または鮮明です。
従って、実際の設置場所の夜間時に検証する必要があります。
通常は「Normal」で運用される事をおすすめします。

⑤ 知的トラッキング

本機ではサポートしていません。

⑥ ライブ映像OFF

ライブ映像から「カメラ」メニュー画面へ戻ります。

⑦ マイクON/OFF

本機のマイクから集音した音を、スマートフォンへの転送のON/OFFを設定します。

マイクマークに斜線が入っている状態 → マイクOFF状態
マイクマークに斜線が入っていない状態 → マイクON状態

またマイクON状態にすると、ライブ映像右側にマイクマークが表示されます。
これをタップし続けて、スマートフォンの通話口から喋ると本機スピーカー部に声が流れます。
音量はCamHiアプリメインメニューの「音量」で調整することができます。

⑧ スナップショット

このボタンを押した瞬間のライブ映像の画像を保存（jpg形式）します。
保存先は以下の通りです。

▼当アプリ上で確認する場合
「カメラ」メニュー下部「写真」タブ → 該当カメラフォルダ選択

▼スマートフォンフォルダで確認する場合
内部ストレージ → Snapshot（画像） → 該当カメラフォルダ選択
※スマートフォンにより異なる場合があります。

⑨ ローカル録画

ライブ映像をそのまま録画（mp4形式）します。
録画中は⑧が赤くなり、ライブ映像右上に「●録画中」が表示されます。
保存先は以下の通りです。

▼当アプリ上で確認する場合
「カメラ」メニュー下部「ビデオ」タブ → 上部「端末に保存済」タブ
→ 該当カメラフォルダ選択 → 「スマホ録画」選択

ここまではスマートフォン上でのみ再生できます。
以下は、パソコンでも再生できるようにする方法です。

先程の説明の「スマホフォルダ選択」まで行くと以下画面になります。



以前にローカル録画したファイルがある場合、ここで複数のファイルが並んでいます。
このファイルで、

[A]をタップ : この範囲をタップすると、この録画映像を再生して、
確認する事ができます。

[B]をタップ : 録画映像に互換性を持たせる為、データをローカル保存します。

[B]をタップするにあたり、以下注意事項です。



この四角の中を確実にタップしてください。
逸れますと、[A]をタップしたのと同じ
再生に移ってしまいます。

[B]をタップするとロール保存をするか否かを聞かれるので「確定」をタップします。

これでパソコンでも録画映像を再生する事ができます。
スマートフォン内での保存先は、

内部ストレージ → convert → カメラUID別フォルダ

でロール保存した動画が保存されています。

パソコンに移動・コピーしたい場合は、スマートフォンをパソコンに
繋いでコピー・移動を行ってください。

⑩ ライブ映像 ストリーム選択

ライブ映像の画質の鮮明さを選択します。

高精 (HD) : CamHiアプリメインメニューの「ビデオ・ストリーム」の「第一ストリーム」
で設定した「第一ストリーム」で設定した画質が反映されます。
映像がSDよりも鮮明ですが、転送データ量が多くなります。

SD : CamHiアプリメインメニューの「ビデオ・ストリーム」の「第二ストリーム」
映像が高精よりも不鮮明ですが、転送データ量が少なくなります。

⑪ マイク

⑦をON状態にするとこのマークが表示されます。

タップし続けながらスマートフォン目掛けて喋ると、その音声为本機スピーカー部から
鳴動します。

10.外出先から本機へアクセス・映像確認・操作する接続方法

**この設定は設置工事を行う前に必ず行ってください。
ルーターへの本機のWi-Fi接続を行わない方は本項は読み飛ばしてください。**

準備1 : 本書の「3.アンテナを取り付ける。」～「8.CamHiアプリに本機を登録する。」を経て、お手持ちのスマートフォンでライブ映像が見れている状態で本項の設定を行います。

準備2 : インターネット環境（Wi-Fiルーターなど）がすでにある状態（2.4GHz対応のもの）で設定します。
5GHz帯（SSIDの末尾が-Aや-A5等）には対応していません。
必ず2.4GHz帯（末尾が-Gや-G2等）のSSIDを選択してください。

準備3 : 準備2のWi-Fiルーターなどのラベル印字面に

SSID : 2.4GHzの前後に表示してある番号や英数字の表記

暗号化キー : 本機とルーターを接続する際のパスワード

この2点を写真で記録、またはメモしておいてください。

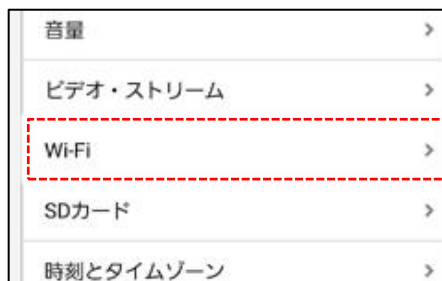
準備4 : 本機を準備2のWi-Fiルーターより障害がない5m以内程度に配置。
（最初の接続設定時はこの距離以内で実施してください）

▼ STEP1



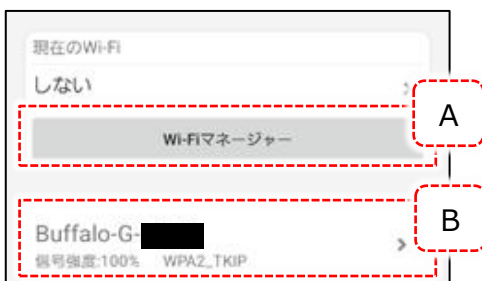
カメラリストよりルーターに接続したいカメラの歯車マークをタップ。

▼ STEP2



メインメニューより「Wi-Fi」をタップ

▼ STEP3



[A]をタップすると、お手持ちのスマートフォンが受信しているWi-Fiリストが[B]欄に複数表示されます。その中から先ほど写真・メモで記録したものと同じリストをタップします。この時、[B]の中の、「信号強度」が本機とルーターの通信状況を示します。写真の場合は100%ですので、最良という事になります。

▼ STEP4



[C]に先ほど写真・メモで記録した暗号化キーを入力して「適用」をタップします。その後、以下の画面が1分ほど表示されます。



▼ STEP5



Wi-Fi接続が成功すると、設定したカメラリストの[D]が「接続済」と表示されます。

▼ STEP6



このSTEPでの試験の目的は、本設位置から本機とWi-Fiルーターの電波の疎通状況を確認する事が目的です。

本機を設置しようとする場所へ持っていきます。

この時、電源ケーブルの延長（テーブルタップ）などである程度伸ばせると理想です。

それが無理な場合は、Wi-Fiルーターから一番遠いコンセントより本機へアダプタを接続してください。

例1：一般宅でWi-Fiルーターが1階にあるので、本機を3階に持っていきそこで本機にアダプタを接続した。

例2：屋外の庭の壁に設置したいので、屋内からテーブルタップで電源を仮に延長して、そこで本機にアダプタを接続した。

スマートフォンの位置はどこでも大丈夫です。

STEP1～3の工程で左写真の画面を表示します。

[E]は現在、本機とWi-Fiルーターが接続されているWi-Fi種別になります。

[F]はお手持ちのスマートフォンが受信しているすべてのWi-Fiリストが表示されています。

この中で、[E]と同じもの[F]から探します。写真ですと一番上に表示されています。

そして「信号強度」に着目します（並び順は信号強度順になります）。

この数字で本機とWi-Fiルーターの電波の状況を判断します。

90～100%→最良

70～89%→良好

69%以下→不良

70%以上の場合は、そこを本設位置として問題ありません。

69%以下は設置位置の再検討かWi-Fi中継器（お客様にてご調達）を使用します。

以下は中継器を使用する場合の概略の説明です。

STEP-A：中継器を購入（中継器例：WEX-1166DHPLまたはこの後継機種）。

STEP-B：中継器とWi-FiルーターをWi-Fi接続（中継器・Wi-Fiルーターは隣通しで設定、設定方法はメーカー説明書）。

STEP-C：本機と中継器を隣同士で一旦置く。本機電源を投入。もし本機がすでに本設後で稼働中の場合は本項STEP2で「Wi-Fi」を選択しましたが、その下に「システム」があるので選択後、「カメラの再起動」を選択し、再起動する。それから本機とスマートフォンをWi-Fi接続し直して、CamHiで映像を見れる状態にしておきます。

STEP-D：本項のSTEP1～STEP3[A]まで行い、STEP3の時に中継器のリスト（中継器裏面ラベル記載）を選択する。この時、リスト内に同じ名前でも「A」「G」のの違いだけの名前がある場合がありますが「G」が付いている方を選択。

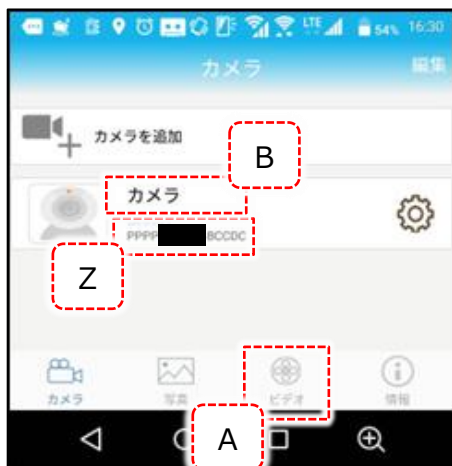
STEP-E：STEP3でWi-Fiリストと暗号化キーは中継器（中継器裏面ラベル記載）に書いてあるものを使用する。

STEP-F：本項のSTEP1～STEP5まで行う（この時のWi-Fiリストは中継器のものを使用する）。

STEP-G：STEP6の本設位置に本機仮設、中継器をWi-Fiルーターと本機の中間あたりに仮設して、信号強度を確認。電波強度が弱い場合は、中継器の位置を変えたりしながら最適な場所を選定する。

11.録画映像の再生方法（スマートフォン再生）

本機SDカードに録画されたデータをスマートフォン上で再生する方法の説明です。



[A]の「ビデオ」をタップします。

本機を複数台設置している場合の、カメラリスト見分け方法

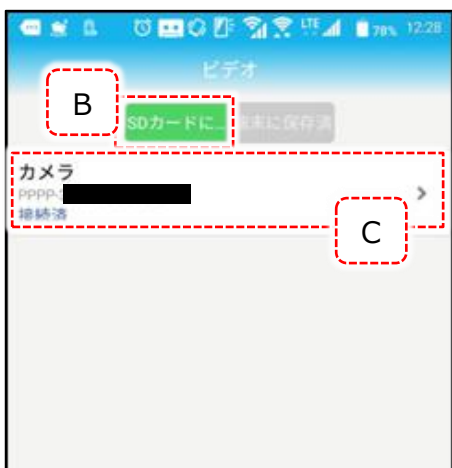


ご注意

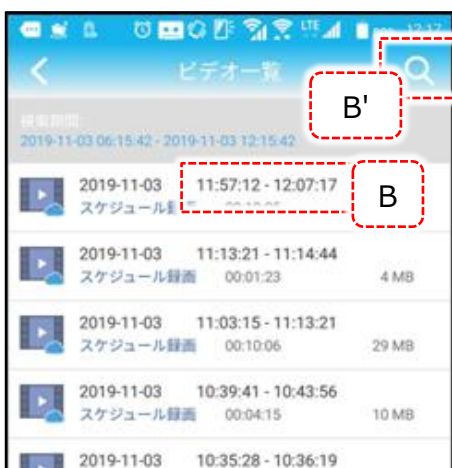
- ① カメラ名称
[B]は【P8】-「STEP5」で任意にカメラ名称を決めることができますので、これで見分けます。
- ② 本機のUID
[Z]は本機へ割り振られているUIDになります。
本機識別方法は、本機に貼ってある細長いシールに記載してある

S****-数字6桁-大文字5文字

で見分ける事もできます。



[B]をタップして選択、[C]で録画確認を行うカメラをタップします。



録画映像リストが表示されますので、[B]の録画時間をリスト上で確認して、再生したいデータをタップします。



左写真で、録画映像のファイルのリストが表示されていますが、1ファイルの録画映像（録画時間）の長さは、CamHiアプリメインメニュー「録画スケジュール」「録画スケジュール-録画の長さ」で変更が可能です。
初期設定では600秒（10分）です。

★ 参考

このリストは[Z]のように、ファイル毎に録画種別が表示されます。

スケジュール録画 : 通常録画
動体検知による... : 動体検知録画を設定していた場合

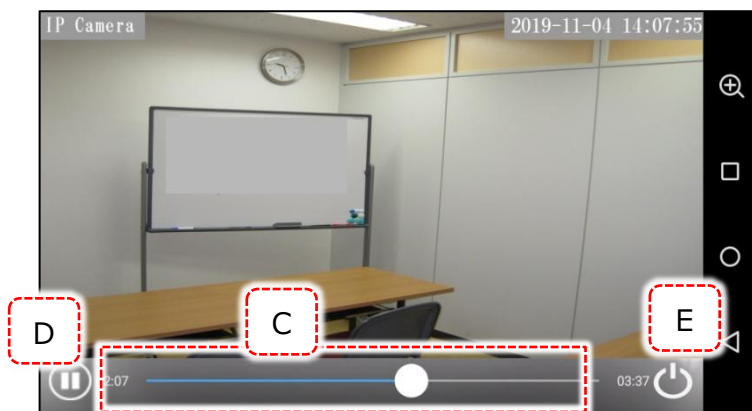
さらに録画映像を絞りたい場合は[B']の虫眼鏡マークをタップします。



左写真のように、さらに絞り込めるメニューが表示されます。
特に「カスタム」では、録画映像抽出開始日時・終了日時が指定できます。



見たい録画映像をタップ、「再生」をタップすると選択した録画映像が再生されます。



再生画面の説明

[C]のスライダーをドラッグして再生を進めたり戻したりできます。

[D]は一時停止です。

[E]でこのウィンドウを閉じます。

12. 録画日数

録画画質設定と使用するmicroSDカードの容量により、録画日数は異なります。
録画画質設定を変更する場合は、下記表を参考に設定してください。

画素数 解像度設定	画面比 録画方式	画質 全6段階 3～6省略	1秒間の 録画枚数 全1～30	microSDカード容量別・録画日数目安値		
				標準付属品	別売品	
				32GB	64GB	128GB
200万画素 1920× 1080	16:9 H.265	2:高	20	5.0	10.0	20.0
			15	6.0	12.0	24.0
			10	7.0	14.0	28.0

- 上記録画日数は目安です。人通りの量などの情報量で変動します。
- また上記録画日数は映像上に常時何らかの動きが1日のうち12時間はあるという想定で積算です。
- 色塗り箇所は出荷時設定による録画時間です。
- 配信レート（ビットレート）は1,000kbps統一の積算です。
- 1秒間の録画枚数は1～25枚迄設定可能ですが、上記では10～20枚以外は省略しています。
- 自動静止画キャプチャーを設定すると上記録画日数は下がります（静止画分容量消費する為）。
- 動体検知録画を使用すると、動きがある時だけの録画なので足掛け録画日数は増えます。

13.ダウンロードした録画映像を動画再生ソフトで再生できるようにする。

ダウンロードした映像をスマートフォン上で見るには「VLC media player」がおすすめです。
本項の操作を行う前に、「VLC media player」をスマートフォンにインストールしてください。
インストールしてから、以下へ進んでください。



【P18】の2番目画面より、「ダウンロード済」をタップ。
録画映像を保管用としてスマートフォンにダウンロードします。
ダウンロードが始まります。ダウンロード時間目安ですが、
録画映像10分（1ファイル） → ダウンロード時間約2～3分

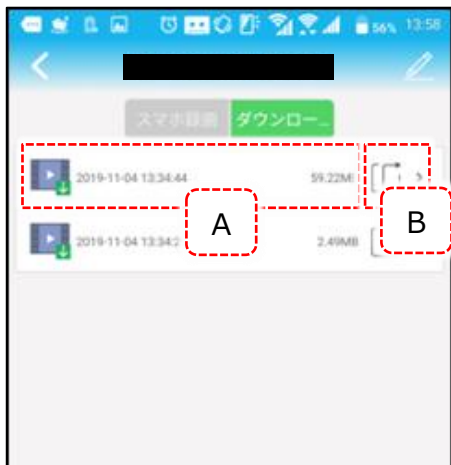


ダウンロードが始まります。



この画面になったら、ダウンロード完了です。

ダウンロード : タップすると終了します。
確認します : 次の画面に進みます。



以前にダウンロードしたファイルがある場合、ここで複数のファイルが並んでいます。

ここで今ダウンロードしたファイルで、

[A]をタップ : この範囲をタップすると、この録画映像を再生して、確認する事ができます。

[B]をタップ : 録画映像に互換性を持たせる為、データをコンバートします。



「OK」をタップ。



変換処理が終わるとこの画面になりますので「完成」をタップ。



スマートフォンの設定の「ストレージ画面」まで進めてください。
(機種により、推移の仕方が異なりますので、ストレージ画面までの説明は省略します)

Androidの例ですと

設定 → デバイスケア → ストレージ → 動画

で推移すると、左写真のような動画リストが表示されますので、[C]のようなリストを見つけてタップします。

- ・ファイル名が【西暦・月・時間】で構成されているもの。
- ・[D]のマークはスマートフォン機種により異なります。

一番最初にお手持ちのスマートフォンでタップすると、紐付け先アプリが表示されますので、予めインストールした[E]の「VLC media player」をタップしてください。すると「VLC media player」での再生画面が始まります。



その他のご説明については本書の表紙のQRコード欄をご覧ください、目的別に説明書をダウンロードしてください。